



ヨムくんと月のともだち さく 笹島 李太

令和2年(2020年)1月

発行 札幌市えほん図書館

札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎6階

電話:011-866-4646 ファクス:011-866-4600

<http://www.city.sapporo.jp/toshokan/ehon/index.html>

本書の著作権は、原作者に帰属し、全部又は一部を複写、複製、転記することを禁じます。なお、札幌市が行う作品の複製・配布に係る権利、展示会・ホームページ等での公開に係る権利及び加筆修正に係る権利(複製権、上映権、公衆送信権、伝達権、口述権、展示権、譲渡権、貸与権、同一保持権)は札幌市に帰属します。

さっぽろ
絵本
グランプリ
第4回

ヨムくんと



のともだち

ヨムくんと月のともだち

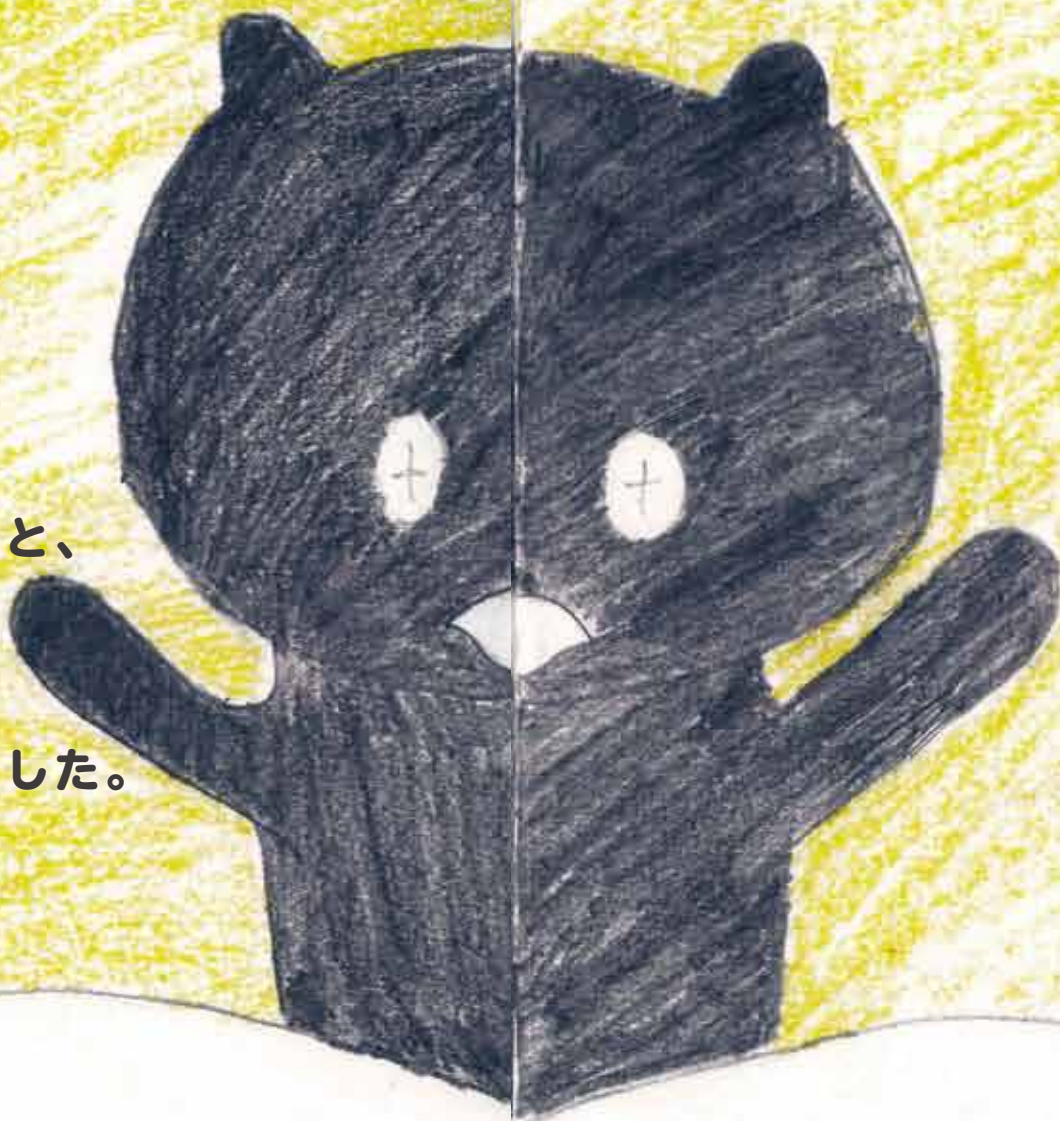


さく 笹島 李太

きょうはとってもいい天気。
ヨムくんはいつものように森を歩いていました。
すると、そのむこうから本が！
「うわあ、なんだろう。」



ヨムくんはおちてきた本をひろうと、
ひらいて中をみてみました。
すると本はたちまちひかりだし、
ヨムくんをつつみこんでしまいました。





気づくとそこはいわだらけ。
なんとヨムくんはおつきさまに
きてしまったのです。
おや、どこからか泣きごえが聞こえます。



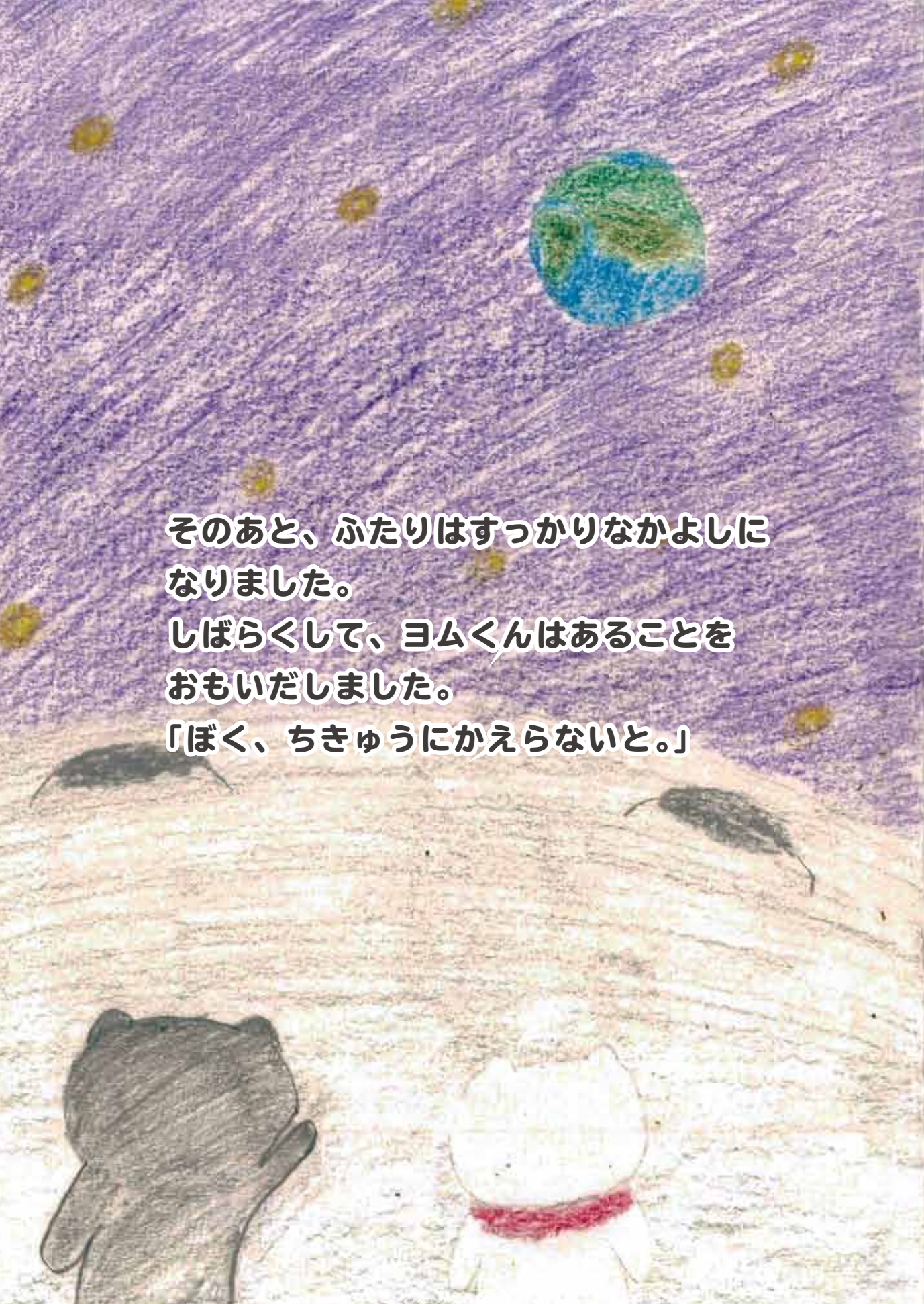


そこには白いくまがいました。
「どうしたの。」
ヨムくんがたずねると、
「ぼくはヨナ。だいじな本を
おとしちゃったんだ。」






「それはこれかな」
ヨムくんはさっきの本をだしました。
「それだよ！ みつけてくれてありがとう。」
ヨナは大よろこび。



そのあと、ふたりはすっかりなかよしになりました。

しばらくして、ヨムくんはあることをおもいだしました。

「ぼく、ちきゅうにかえらないと。」



「それならこのペンダントをつければいいよ。」
ヨムくんはみどりのペンダントをもらいました。



ペンダントをつけると、
あのひかりにまたつつまれました。
「じゃあね～。またきてね～！」
ひかりにつつまれて、
ヨムくんはちきゅうにかえっていきました。

